



あなんカルチャー

■ 邦楽への招待 Vol.16 未来への輝き

～次世代の邦楽界を負う
若手とマリンバのコラボ～

日時 2月28日(日) 13:30開演 (13:00開場)
場所 コスモホール (情報文化センター)
出演者 中村雅楽晶、成川雅富美、有月雅由伎、藤本尚山、泥川佳余子、成川花音、佐々木健人、庄野文哉
特別出演 久米見奈子 (マリンバ)
羽ノ浦小学校 箏クラブ
演奏曲 中空砧、祇園精舎、春三題、夕焼け小焼け変奏曲 Chain、マリンバの時、ルパン三世
入場料 無料
問い合わせ 情報文化センター (☎44-5000) へ

■ 秋川雅史コンサート

日時 2月28日(日) 15:00開演 (14:00開場)
場所 夢ホール (文化会館)
入場料 3,500円【全席指定】
※当日券は500円増し
※3歳未満の方の入場はご遠慮ください。
問い合わせ 文化会館 (☎21-0808) へ



科学センター

ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>

■ 「北條民雄文学賞」作品募集中!!

阿南市出身の作家北條民雄の生誕100周年と阿南市合併10周年を記念して、「北條民雄文学賞」を創設しました。
この文学賞により、ハンセン病や人権問題に対する理解が進むとともに、北條民雄の作品や業績を顧みるきっかけになることを願って作品を募集しています。
テーマ 「北條民雄」もしくは「ハンセン病」
応募締切 2月29日(月) (当日消印有効)
選考委員 原田大二郎 (俳優)、高山文彦 (作家) 旺季志ずか (脚本家)

※応募要項等くわしくは、市ホームページをご覧ください。

応募先・問い合わせ 〒774-0030 富岡町西池田135番地1 文化振興課 (☎22-1798) へ

■ 明治大学マンドリン倶楽部演奏会

懐かしく、親しみやすいマンドリンの演奏を存分にお楽しみください。



日時 3月4日(金) 18:30開演 (18:00開場)
場所 コスモホール (情報文化センター)
ゲスト う～み
入場料 【全席自由】 2,500円 (当日500円増し)
★お得なセット券を発売しています
・2枚セット 4,500円
・3枚セット 6,000円
チケット販売場所 情報文化センター、文化会館、市民会館、ミリカホール、平惣書店ほか
問い合わせ 情報文化センター (☎44-5000) へ

阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会
会長 湯浅良幸

江戸時代の貨幣制度(下)

江戸時代の貨幣制度は、金・銀・銭の三貨で成り立っていた。当初、幕府は金貨を上級武士、銀貨を下級武士、銭貨を庶民に格付けしていた。例えば、褒賞として上級武士には金貨、下級武士には銀貨、庶民には銭貨が与えられていた。罰金を支払うにしても庶民にはどんな高額であっても、銭貨を使用した。
もつとも、これはあくまで公の場合であって日常の取引には三貨を混合して使った。
しかし、現実には店を構えた大工・左官などには銀勘定。日雇人足には銭で支払われた。



「江戸は金使い」「上方では銀使い」と言われたように江戸では金貨、上方(大坂)では銀貨を使った。
三貨の交換比率は寛永年間(一六二四―一四三三)に金一兩⇔銀六十丁⇔銭四貫文と定め、江戸時代を通じて変わらなかった。
金貨に大判がある。一般に大判十兩と言われるが、正味は七兩二分程度である。大判は儀礼用・贈答用に使われていたからいわゆる通貨ではない。
金貨の基準と言え小判である。小判一枚の二分の一が二分判である。四分の一が一分判である。一朱は一兩の十六分の一である。
銀貨は秤量貨として丁銀、豆板銀(小粒)切り銀と表記貨としての五匁銀、二朱判銀、一朱銀、一分銀があった。丁銀は銀塊で、重さ四十三匁である。五匁銀(明和二年発行)十二枚で金一兩、二朱銀(宝永元年発行)八枚で金一兩に換えられた。
銭貨では寛永通宝、文銭、元字銭にも二文銭があり、四文通用の文久永宝、十文通用の宝永通宝、百文通用の天保通宝などがあつた。
しかし、金・銀・銭の交換比率には変動があつた。交換に相場が立つた。「銀相場」といい交換を取扱ったのが「両替屋」である。江戸では神田・浅草・芝・四谷・本郷に多くあつた。
しかし、だんだんと店が増えたの

で享保三(一七一八)年には両替屋を三百軒に制限した。
両替には一定の手数料を要した。しかし、両替屋は金貸し業を兼ねていたので財をなす者が多かった。天保通宝は当百文だった。しかし、実際には寛永通宝一文銭の六、七倍の重さしかなかった。そのため百文として扱われなかった。
幕府が潰れ明治政府が誕生すると単位両は円と変わった。天保通宝は一銭にも充たない八厘となった。そこで、「天保八厘」という言葉が生まれた。凶体だけが大きくて頭が詰まっていけない者を「八厘」って言うようになった。安政六(一八五九)年に鑄造された安政二朱銀(バカ二朱)がある。これは評判が悪くてわずか二十三日で通用が中止された。明治四年に発行された旧金貨(例五円金貨。八・三三二グラム)は明治三十年に発行された新金貨(例五円金貨。四・六六六グラム)に対し額面の二倍で通用された。(続く)
参考 稲垣史生著「時代考証辞典」



天保通宝

わくわく科学の広場
「フワフワ鳥を作ろう」 (無料)
日時 2月11日(祝) 午前10時30分～11時40分、午後1時30分～3時30分
内容 発泡スチロールペーパーを使って、よく飛ぶ鳥を作ります。子供向けの簡単な工作です。
参加方法 予約不要。当日、実施時間内にお越しください。
夜間天体観望会 (有料・要予約)
実施日時 毎週土曜日の午後6時～、7時～、8時～(1日3回)
参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円、幼児無料

おもしろ科学実験 (無料)
毎週土、日曜日の午前11時～、午後2時20分～の2回実施。
2月の予定
6日(土) 火あぶりビニール袋の秘密
7日(日) 電気について調べよう
13日(土) グローランブの仕組みを知ろう
14日(日) ペットボトルブルドーザーを走らせよう
20日(土) 体験してみよう「科学マジック」
21日(日) 秘密の文字を読み取ろう
27日(土) ブラックライトで遊ぼう
28日(日) 超簡単なモーターを作ろう
デジタルプラネタリウム(無料)
土、日曜日、祝日の午後1時30分～、3時～の2回実施。
2月のテーマ 「今夜の星空と長寿の星カノープス」(2月28日(日)まで)
南の超低空に見える一等星「カノープス」について、いつ観察できるか、またどのような特徴があるかなどお話をしていきます。

問い合わせ 科学センター (☎42-1600) へ
2月の休館日
1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)